

## 令和 2 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 山田 昇平

最終学歴	大阪大学大学院博士後期課程 修了	
取得学位	博士(文学)	
所属学会	日本語学会、日本音声学会、訓点語学会、大阪大学国語国文学会	
専門分野	国語学	
研究課題	日本語音韻史、キリシタン資料	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の歴史 I、II</li> <li>・古典日本語論</li> <li>・言語文学 I、II (四)</li> <li>・国文学講読 I、II (六)</li> <li>・演習 I (七)</li> <li>・演習 II (六)</li> </ul>
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	
【研究上の特記事項】		
【教育上の特記事項】	<p>・学生と共に自主勉強「国語学(日本語学)の論文を読もう会」を行い、国語学分野における高度な内容の論文を対象に読解を行った。</p>	
【社会的活動】	<p>・九州大学大学院人文科学研究院・下地理則研究室主催「記述文法勉強会」にて、ゲストスピーカーを務めた。Web形式。論題「日本語(文献)音韻史の方法」(12/11)。</p>	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	<p>文学部教務委員会、全学学生指導委員、歴史フォーラム委員、男子バレーボール部顧問</p>	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①				
②				
③				
④				
(学術論文)				
①漢語接尾辞「チュウ」(中)の成立に対する考察——接尾辞「チュウ」「ヂュウ」の歴史を背景とする——	単著	2020年11月	『京都語文』28(仏教大学国語国文学会)	漢語接尾辞「チュウ」の成立について、近世期を通じた通時的考察を行った。招待有。
②				
③				
④				
(学会発表)				
①至福の音韻研究——音韻史研究に話者の言語意識は持ち込めるか？を、舌内入声を題材に考える——	単著	2020年9月	2020年度信州大学日本語学研究室夏季セミナー	日本語音韻研究における「言語意識」的観点の有効性を、t入声を題材に検討した。招待有。
②キリシタン・ローマ字文献を中心にみたt入声	単著	2021年3月	第86回中部日本・日本語学研究会	中世末期のt入声について、キリシタン・ローマ字文献を主資料に検討を加えた。招待有。
③				
④				
(その他)				
①				
②				
③				
④				